

令和 2 年 9 月 9 日現在

機関番号：82512

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K21641

研究課題名（和文）ベトナム稲作農村における階層分化と土地制度：紅河デルタとメコンデルタの比較研究

研究課題名（英文）Economic differentiation and land system in rice farming villages in Vietnam: a comparative study of the Red River Delta and the Mekong Delta

研究代表者

荒神 衣美 (Kojin, Emi)

独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・地域研究センター東南アジア I I 研究グループ・研究員

研究者番号：40450530

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,900,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、ベトナム稲作農村における経済階層分化と農地保有との関係を、歴史的背景が異なるメコンデルタと紅河デルタとの比較を通じて検討しようとするものであった。インタビュー調査、質問票調査、全国レベルのマイクロデータの分析などから、歴史的背景の違いを要因のひとつとした経済階層分化の地域差が、メコンデルタと紅河デルタの間のみならず、メコンデルタ内の小地域間でも見られることが明らかになった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

ベトナムでは全国レベルおよび都市・農村間での格差がほとんど拡大していない一方で、農村内格差が拡大しているという状況がある。そうしたなか、農村における経済階層分化の規定要因の多様化やその背景を実証的に明らかにした本研究の意義は大きい。

研究成果の概要（英文）：This study sought to examine the relationship between economic stratification and landholdings in Vietnamese rice farming villages through a comparison between the Mekong Delta and the Red River Delta. The results of interview surveys, questionnaire surveys, and analysis of microdata at the national level reveal that regional differences in rural economic stratification, partly due to differences in historical background, are found not only between the Mekong Delta and the Red River Delta, but also within the Mekong Delta.

研究分野：ベトナム地域研究 農村経済 社会階層

キーワード：ベトナム メコンデルタ 農村経済 農村階層 農地保有

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。

1. 研究開始当初の背景

ベトナムを代表する穀倉地帯であるメコンデルタと红河デルタとでは、異なる農村階層分化の様相が確認される。メコンデルタでは、ドイモイ開始直後から市場を介した農地流動化が進んだ。稲作が主たる産業である当地では、土地所有を基準にした階層区分が明確に現れている。一方、红河デルタでは、市場を介した農地流動化が進まず、均質な小農経済が維持されてきた。そのなかで、農業ではなく非農業所得や送金収入に規定される階層分化が生じつつある。

红河デルタとメコンデルタとでは、伝統的な社会構造や農地利用慣習、植民地期の農地利用、農業集団化の徹底状況、さらにドイモイ開始後の農地分配政策に大きな違いがある。こうした歴史的相違が、ドイモイ開始後の両デルタで、農地政策や農地市場など農地を取り巻く制度の形成経路を規定した、各デルタで成立した異なる農地制度が、農村階層の上位に移動するうえでの農地の重要性、ひいては農村階層変動の在り方に地域差をもたらす主要因となった、というのが、本研究の仮説である。

2. 研究の目的

本研究の目的は、2つのデルタにおける農村階層変動の在り方の相違を、農地制度との関係から説明することにある。両デルタでどのような農地制度が展開しているのかを、制度形成の歴史的経路依存性に着目しながら明らかにし、各々の地域で農地制度が農村階層変動に与えた影響を検証する。

3. 研究の方法

研究課題申請当初は、红河デルタとメコンデルタの双方で選定した調査地(行政村)で、関連機関からの聞き取り調査や農村世帯に対する質問票調査を行う予定であった。しかし、メコンデルタで収集したデータの分析から、農村階層分化の地域差(具体的には分化が農地保有に規定されるか非農業所得に規定されるか)が红河デルタとメコンデルタの間のみならずメコンデルタ内の小地域間でも見いだされたことを踏まえ、研究方法の見直しを行った。具体的には、红河デルタでの質問票調査を取りやめ、メコンデルタでの追加的な聞き取り調査とベトナム統計総局が刊行する家計調査データの入手・精査を行った。

4. 研究成果

まず初年度には、すでに他の研究費を用いてメコンデルタで収集していたデータの分析作業や红河デルタ調査のためのカウンターパートの選定を行った。そのうえで、2年目となる2017年度には、红河デルタから選定した1調査地で予備的な聞き取り調査を実施した。

一方、メコンデルタ調査で収集したデータの分析結果からは、メコンデルタのなかでも農村階層分化の様相に地域差があることが分かった。具体的には、メコンデルタのなかでも農地利用史や経済発展状況に地域差があることを背景に、農村階層分化が農地保有規模に規定される行政村と非農業所得に規定される行政村とが存在している。詳細は発表論文リストの図書に和文でまとめたほか、図書を英文で改稿してジャーナルに投稿した(現在、査読結果を受けて改稿中)。

農地保有と農村階層分化の関係を明らかにするうえでは、メコンデルタ内で見いだされた地域差を深掘りすると同時に、調査地の位置づけや代表性を客観的に確認する作業が必要と考えられた。そのため、プロジェクト3年目以降は、当初予定していた红河デルタでの質問票調査の実施を見送り、メコンデルタでの追加的な聞き取り調査とベトナム統計総局が刊行する家計調査データの入手に注力した。メコンデルタでの追加調査の派生的成果として、メコンデルタにおける大規模農業経営の発展について論じる図書を発表した。また、家計調査データの入手については、統計総局との交渉に時間を要したものの、2018年度には必要なデータの入手に成功した。入手したマイクロデータを用い、農村経済階層分化の地域性に関する論考を現在執筆中である。

さらに、メコンデルタ調査によって確認された農村経済階層の分化構造が世代間階層移動を経てなお持続するの否かという点にも視野を広げ、2018~2019年度にはメコンデルタのカントー大学の協力のもと、農村出身者の大学進学と卒業後の進路について、学生インタビューや情報収集を行った。そこでの聞き取り情報なども踏まえ、雑誌論文では、工業化・近代化期ベトナムで生じている農村社会変動について総括し、農村内での経済的分化という現象が近代産業社会の在り方にどう影響するのかを考察するための枠組みを、仮説的に提示した。

以上の研究成果について、下記リストにある国際シンポジウム(2019年神田外語大学にて開催)での報告や研究協力者のイアン・コックスヘッド氏との議論を通じ、さらに考察を深めた。当初予定からの軌道修正はあったものの、ベトナムにおける農村階層分化の規定要因の多様化

様 式 C - 1 9、F - 1 9 - 1、Z - 1 9 (共通)

とその背景、さらには今後の変化の方向性について、多角的な視点から実態解明を行うことができたと考える。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 3件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 荒神衣美	4. 巻 -
2. 論文標題 工業化・近代化に伴う農村社会変動 ベトナム社会把握の枠組みに関する試論	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IDEスクエア	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 辻一成・荒神衣美	4. 巻 640
2. 論文標題 ベトナムにおける大規模農業経営の発展条件	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『途上国における農業経営の変革』（清水達也編、アジア経済研究所、研究双書）	6. 最初と最後の頁 89-130
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 荒神衣美	4. 巻 No. 633
2. 論文標題 ベトナム農民層の経済的分化メカニズム - メコンデルタ稲作農村の事例から	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『多層化するベトナム社会』（荒神衣美編、アジア経済研究所 研究双書）	6. 最初と最後の頁 157-184
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件/うち国際学会 0件）

1. 発表者名 荒神衣美
2. 発表標題 『多層化するベトナム社会』の総括と新たな社会把握枠組みの検討
3. 学会等名 国際シンポジウム「階層化するベトナム社会を考える」（2019年3月20日、神田外語大学にて開催）
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 協力 者	コックスヘッド イアン (Coxhead Ian)	ウイスコンシン大学マディソン校	